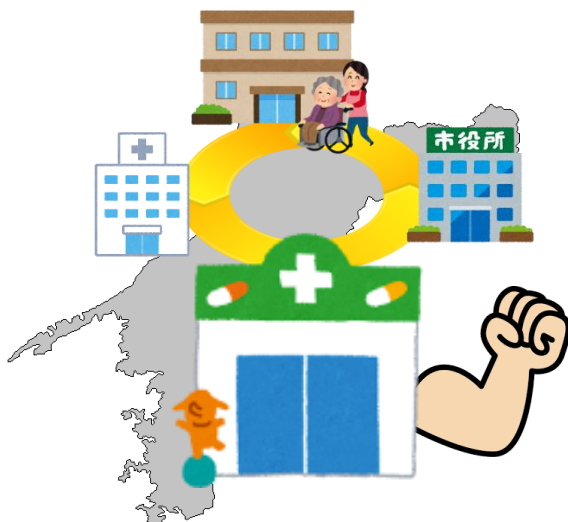


薬剤師による愛顔の

健康サポート推進事業

愛媛県

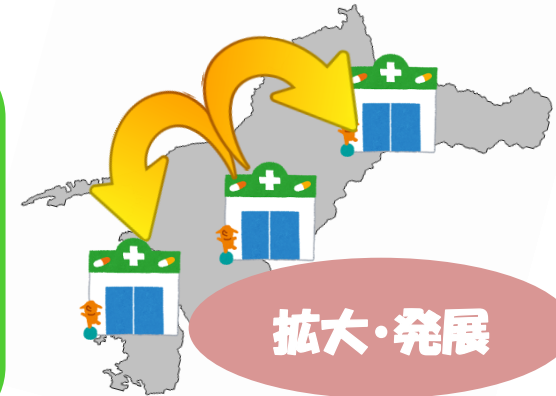
愛媛県薬剤師会



実施事業目標と概要

【実施した事業を継続】

1. 愛媛プレアボイドシステム活用
2. 多職種が求める薬剤師へ求めるニーズの把握
3. 地域イベント等における健康チェック等の実施
4. 事業の周知と結果の公表



【目標】 地域に求められる薬局・薬剤師を目指して

地域に貢献できる薬剤師の育成

&

薬局の機能強化（多職種連携！！）

NEW!!

【新たな実施事業】

- ① 専門的な薬学的知見に基づくポリファーマシー対策
- ② 医療経済的効果を目指した残薬解消への取組
- ③ 高齢者を対象とした啓発活動の実施
- ④ 多職種連携フレイル予防
- ⑤ 事業終了後の影響調査(フィードバック)

①専門的な薬学的知見に基づくポリファーマシー対策

薬剤師のレベルアップを目的として研修会や意見交換会の実施

健康サポート機能充実事業

ポリファーマシー研修会



開催日 令和5年12月16日(土) 15:00~16:30

開催形式 ハイブリッド開催

開催場所 愛媛県薬剤師会館3階大会議室(松山市三番町7-6-9)およびWEB

共催 一般社団法人 愛媛県薬剤師会、一般社団法人 愛媛県病院薬剤師会

取得単位 日本薬剤師研修センター生涯研修1単位 申請中
日病薬病院薬学認定薬剤師制度 V-3 1単位 申請中
JPALS 研修コード: 38-2023-0076-101

内容

座長 医療法人順天会 放射線第一病院 薬剤部 増出 源仁

「高齢者におけるポリファーマシー対策と処方見直しへのアプローチ」

医療法人長久堂野村病院 薬剤科 科長 荒川 隆之 先生

申込方法 下記 URL または QR コードよりご登録ください。
(締切 12月9日(土) 厳守)

<https://forms.gle/QhGuYXuaWCAf4PpC6>



確認事項

- 12月13日(水)頃に ZOOM 参加用 URL をご登録いただいた E メールにお送りします。
- 必ず研修会開始 5 分前にはログインし、プロフィールの表示名を受講者名(勤務先)に設定してください。「例: 愛媛 花子 (みきゃん薬局)」お名前が特定できない場合、視聴ログの不足により認定単位の付与が出来ない場合があります。
- 研修中に複数のキーワードが表示されますので忘れないようにメモをお願いします。研修の最後に「キーワード報告」画面が表示されますので、必ず報告をお願いします。この報告と視聴ログを確認し認定単位の申請を行います。



問合せ先

一般社団法人 愛媛県薬剤師会 TEL 089-941-4165 FAX 089-921-5353

健康サポート機能充実事業

ポリファーマシー研修会



開催日 令和5年11月17日(金) 19:30~21:00

開催形式 ハイブリッド開催

開催場所 愛媛県薬剤師会館3階大会議室(松山市三番町7-6-9)およびWEB

共催 一般社団法人 愛媛県薬剤師会、一般社団法人 愛媛県病院薬剤師会

取得単位 日本薬剤師研修センター生涯研修1単位 申請中
日病薬病院薬学認定薬剤師制度 (Ⅱ-1 1単位) 申請中
JPALS 研修コード: 38-2023-0070-101

内容

座長 愛媛県薬剤師会 理事・愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 飛藤 範明

「ポリファーマシー対策 ～この処方患者さんの笑顔につながるために～」

愛媛大学大学院医学系研究科 薬理学 教授 茂木 正樹 先生

申込方法 下記 URL または QR コードよりご登録ください。
(締切 11月10日(金) 厳守)

<https://forms.gle/UMWEtSwNld8aisRy5>



確認事項

- 11月14日(火)頃に ZOOM 参加用 URL をご登録いただいた E メールにお送りします。
- 必ず研修会開始 5 分前にはログインし、プロフィールの表示名を受講者の氏名のみを設定してください。(例: 愛媛 花子) お名前が特定できない場合、視聴ログの不足により認定単位の付与が出来ない場合があります。
- 研修中に複数のキーワードが表示されますので忘れないようにメモをお願いします。研修の最後に「キーワード報告」画面が表示されますので、必ず報告をお願いします。



問合せ先

一般社団法人 愛媛県薬剤師会 TEL 089-941-4165 FAX 089-921-5353

①専門的な薬学的知見に基づくポリファーマシー対策

③高齢者を対象とした啓発活動の実施



お薬手帳をリニューアルし、さらに活用しやすく
新しくなったお薬手帳を県民へ活用を促すため啓発活動を実施



【ねんりんピック 愛顔（えがお）のえひめ2023】

【愛媛県老人クラブ連合会 健康づくり大学校】

①専門的な薬学的知見に基づくポリファーマシー対策

②医療経済的効果を目指した残薬解消への取組

プレアボイド通信 vol.09

2023.12

愛媛プレアボイド報告

プレアボイド報告件数 2023年1月～2023年10月 2023年11月17日時点



愛媛県のポリファーマシー対策 **おひせ**

令和5年度、愛媛県では薬剤機能の高度化推進事業の一端として、「薬剤部による愛媛(えがお)の創薬サポート推進事業」を立ち上げており、その一つに「ポリファーマシー対策」が盛り込まれている。
本事業の目的：
「薬剤師が専門的な薬学的知見に基づくポリファーマシー対策を積極的に行うことで、薬物治療の適正化を推進し、県民の健康増進に寄与すること」

しかし、
薬剤師がポリファーマシー対策を積極的にすることは難しい！



- なぜなら、
- ✓服用している薬が、ポリファーマシーの原因であることを正確に判断できない
 - ✓医師が患者に対し必要と見做して処方した薬を、薬剤師が必要ないと判断する根拠が提示できない

そこで！ **注目！** 研修会で知識を深めよう

- ✓基礎研修会（令和5年11月17日、12月16日開催）
- ✓実践研修会（準備中）

今後はタスクシフト等により薬剤師による処方変更・設計が広く求められるようになる。
ポリファーマシー対策においても例外ではないのかもしれない。

薬局プレアボイド事例紹介

病院と保険薬局の連携が出来た症例
心房細動に対しA病院でエリキウス®錠 5mg1日2錠服用していた患者。他疾患治療にてB病院に入院中、腎機能低下と消化管出血がみられ、1回5mgから2.5mgに減量となった。退院後、A病院を受診した際に、以前の投与量にてエリキウス®錠が処方されたため、上記旨を処方医へ疑義照会した結果、2.5mgへ減量となった。
ポイント A病院の処方を受けた際に、用量調整を行ったB病院からの退院薬管理サマリをもとに問い合わせ対応ができた。

ポリファーマシーに関する症例

左眼の視力がほぼない患者で、薬を1包化して服用していた。患者に残薬数を確認した際に、食後の薬はほぼ服用できているが、食直前のボグリボース錠は飲み忘れもあり食後服用になることが多い旨聴取した。また、ボグリボース錠の残薬も多かった。病院の検査結果にてHbA1cが安定していることを確認し、低血糖の際にブドウ糖摂取が困難であると予想できたことから、トレーションプレートをを用いてボグリボース錠の服用中止を提案し、提案通り中止となった。

プレアボイド通信 vol.10

2024.3

愛媛プレアボイド報告

プレアボイド報告件数 年間推移（～2023年）



薬局プレアボイド事例紹介

腎機能低下患者へ処方されたレボフロキサシリン錠について疑義照会後に減量となった事例
86歳・女性
泌尿器科にて下記処方あり、A薬局に薬局。レボフロキサシリン錠500mg1回1日1回 7日分処方箋検査値よりOCr(OG式で算出)33.94 (mL/min)であることを確認。腎機能低下によりレボフロキサシリンのAUCが増加するため2日目を減量が必要と判断。処方医に情報提供し、提案通り初日500mgを1回、2日目を250mgを1日1回に変更となった。



気管支喘息治療中の患者に処方されたミケラン®LA点眼液2%について疑義照会後に処方変更された事例
80歳・女性
眼科にて下記処方あり、B薬局に薬局。ミケラン®LA点眼液2% 1日1回両眼患者へのヒアリングにより、喘息既往があることを確認。ミケラン®LA点眼液は気管支喘息の患者には禁忌(症状を増悪させるおそれがある)であるため処方医に情報提供。気管支喘息患者にも使用可能であるグラナテック®点眼液0.4%に処方変更となった。
ぜんそくです

病院プレアボイド事例紹介

フルコナゾール服用中の患者にベネケクスタ®錠が開始となり、疑義照会後に用量変更となった事例
67歳・男性
AMLに対しビダーゼ®注+ベネケクスタ®錠の治療開始となる。フルコナゾール(中等度のCYP3A阻害剤)との併用によりベネケクスタ®錠の血中濃度が上昇するため用量調節が必要である旨処方医に疑義照会後、ベネケクスタ®錠が減量となった。

併用薬を見逃さないための工夫

市立宇和島病院では、薬剤師が併用薬チェックリスト(図①)を作成し、医師と共有しています。共有方法は、電子カルテ内の「Excelチャート」機能(図②)を用いて、図②をクリックすると図①が展開されます。現在は「キロビッド®」バックのみで運用していますが、今後ベネケクスタ®錠についても導入を検討しています。



① 専門的な薬学的知見に基づくポリファーマシー対策

② 医療経済的効果を目指した残薬解消への取組



1日に何種類の薬を飲んでいますが？



服用する薬が**6つ以上**になると、**副作用が起こりやすくなります！**

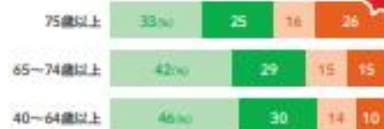
一人の患者さんが
1か月に1つの薬局で
受け取る薬の数

高齢者は複数の持病を抱え、それに伴い処方される薬の数が増える傾向があります。70歳以上の高齢者では6つ以上の薬を使っていることも珍しくありません。

●年齢層別の薬の数

一人の患者さんが1か月に1つの薬局で受け取る薬の数

● 1～2種 ● 3～4種 ● 5～6種 ● 7～8種



厚生労働省「2014年度国民生活動向調査」

薬が増えると副作用が
起こりやすくなります

高齢者において、薬の処方が6つ以上になると、副作用の発生が増加することが確認されています。さらに、薬を5つ以上使用する高齢者の4割以上が、ふらつき・転倒のリスクがあるとされています。

●薬の数と副作用の頻度との関係



Asajima T, Akitaoka M, et al. *Drugs* 2012; 72: 2213



薬について疑問があれば、
かかりつけの薬剤師に相談しましょう!

薬の適切な使用には注意が必要です。自己判断で薬の使用を中断せず、処方された薬は正しく使用しましょう。自費から、かかりつけの薬局や薬剤師を持って、処方されているくすりの情報を把握してもらって安心です。



一般社団法人 愛媛県薬剤師会

— EMMY Pharmaceutical Association —



④多職種連携フレイル予防



○多職種連携によるフレイル予防啓発資材の作成・配布

愛媛県薬剤師会 WEB 研修会

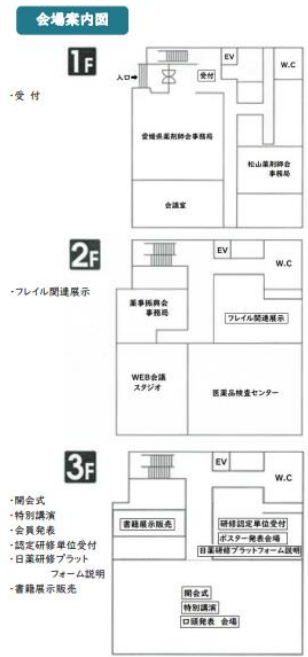
**10/2
(月)**

- 開催日時: 令和5年10月2日(月)
19:30~21:00
- 開催形式: WEB形式 (ZOOM ウェビナー)
- 特別講演:
 座長 松山赤十字病院 薬剤部 部長 村上 通康 先生
**愛媛県における健康寿命延伸を目指して
 ~薬剤師の健康サポートとは?~**
 愛媛大学総合健康センター 教授 古川 慎哉 先生
- 受講申込: 下記 URL または QR コードよりお申込みください
(9/25(月)まで厳守)

<https://forms.gle/rfHIAAtKumZzLVb3T7>

主催: 一般社団法人 愛媛県薬剤師会
日本薬剤師研修センター | 単位申請予定



第20回

愛媛県薬剤師会学術大会
~地域社会に貢献する薬剤師をめざして~



駐車場はございません。公共交通機関が近隣の有料駐車場をご利用下さい。
二輪車は会館西側の臨時駐輪場に停めて下さい。

日 時: 令和6年2月18日(日)
会 場: 愛媛県薬剤師会館
松山市三番町 7-6-9
TEL: 089-941-4165

主 催: (一社) 愛媛県薬剤師会
共 催: (一社) 愛媛県病院薬剤師会

日本薬剤師研修センター研修認定・薬剤師制度: 3 単位
日病薬病院薬学認定薬剤師制度: 3 単位



【フレイル関連商品展示】
実施日 : 令和6年2月18日
参加人数: 薬剤師 42 名
「愛媛県薬剤師会 学術大会 フレイル関連展示ブース」

【フレイル予防基礎研修会】
実施日 : 令和5年10月2日 (WEB 開催) 参加人数: 薬剤師95名
「愛媛県における健康寿命延伸を目指して ~薬剤師の健康サポートとは?~」
講師 : 愛媛大学総合健康センター 教授 古川 慎哉 先生

④多職種連携フレイル予防

○多職種連携によるフレイル予防啓発資材の作成・配布

『クライミングが初めてでも楽しめる大会』 3C (Challenged Climbing Cup) in JAPAN 3rd 愛媛大会(in EHIME)

目 的 障害のあるないに関わらず、腕のみ（キャンパ）と目隠し（ブラインド）の
カテゴリで一緒にクライミングしませんか？
クライミングを通じてたくさんの人が笑顔で交流できる場を全国で展開する



主 催 3C (Challenged Climbing Cup) 実行委員会
(一般社団法人フォーススタート・東予人プロジェクト)

後 援 一般社団法人愛媛県薬剤師会

協 賛 庄野薬局 伊豫風土合同会社
株式会社りんね 東陽製菓株式会社
株式会社大阪屋

協 力 西条市 西条市山岳協会

開催日時 2023年11月18日(土)
12時半～16時半(12時受付開始、17時完全撤収)

場 所 石鎚クライミングパーク SAJJO 愛媛県西条市水見乙7 2 4

参加費 ・おとな5,000円(18歳以上)
・子ども2,000円(18歳未満) 未就学 無料
・ファンクラス1,000円
※シューズ・ハーネスのレンタルは無料

支払方法 当日現金



愛媛県リハビリテーション専門
職協会と薬剤師会の合同ブース
を設営

①専門的な薬学的知見に基づくポリファーマシー対策

②医療経済的効果を目指した残薬解消への取組

薬局プレアボイド報告

- ・愛媛プレアボイドシステムの報告件数の変化

薬局プレアボイド報告

2022年 212軒 1626報告

2023年 215軒 1558報告

残薬解消に関する報告数

2022年 358件 経済効果 1,339,075円

2023年 223件 経済効果 869,463円

- ・患者アンケート調査より

お薬手帳を利用して自宅に残った薬を調整したことがある

125名/345名中(36.2%)

お薬手帳を利用して薬の副作用を防いでもらったことがある

114名/345名中(33.0%)

お薬手帳を利用して薬の飲み合わせを防いでもらったことがある

145名/345名中

- ・処方適正化後のフォローアップ件数、継続に関する事項

算定後(または算定要件は満たしていないが処方提案をした後)どうなったか

1剤のみ減薬となった 4件

2剤減薬となった 1件

減薬された 33件

変更なし 14件

① 専門的な薬学的知見に基づくポリファーマシー対策

② 医療経済的効果を目指した残薬解消への取組

・ 調剤管理加算や服用薬剤調整支援料の件数

令和4年度

服用薬剤調整支援料1算定件数

1件	4人
2件	2人
3件	2人
4件	1人
5件	3人
算定件数計	33件

令和5年度

服用薬剤調整支援料1算定件数

1件	6人
2件	1人
3件	3人
6件	1人
10件	1人
算定件数計	33件

令和4年度

服用薬剤調整支援料2算定件数

1件	7人
2件	5人
3件	1人
4件	1人
5件	2人
10件	1人
算定件数計	44件

令和5年度

服用薬剤調整支援料2算定件数

1件	7人
2件	6人
4件	3人
5件	2人
6件	1人
10件	1人
40件	1人
算定件数計	97件

④多職種連携フレイル予防

・県民から薬剤師への相談件数(フレイル予防対応件数)

フレイルの患者さんまたは家族を含む介護者に関わった経験がある
60名/193名中(31.1%)

フレイルの患者さんとの関わり方

アドヒアランスの向上 41名

多剤併用に対する適切な薬物療法の支援 34名

薬の追加や変更時の情報提供 33名

副作用や相互作用などの情報提供 31名

栄養指導 29名

運動指導 22名

医療機関への受診勧奨(健康診断含む) 21名

口腔ケア 15名

在宅療養(介護用品、医療機器など)の相談 15名

メンタルサポート 10名

社会活動や就労などの相談 7名

禁煙指導 4名

●健康サポート薬局の軒数

令和5年9月末 42軒 → 令和6年3月末 43軒

【令和6年度事業実施予定】

① 専門的な薬学的知見に基づくポリファーマシー対策

- ・ 県内薬剤師を対象としたアンケート調査の実施
- ・ 模擬事例を活用した実践的ワークショップ研修会
- ・ 多職種参加型のワークショップ研修会
- ・ プレアボイドシステムからの事例収集と情報発信

② 多職種連携フレイル予防

- ・ 県内薬剤師を対象としたアンケート調査の実施
- ・ 多職種参加型のワークショップ研修会
- ・ 多職種協同でのイベント開催（県内各地に展開）
- ・ 地域薬剤師会でのフレイル予防インストラクターの育成
- ・ インストラクターによる地域薬局への展開